

# 柏崎刈羽原子力発電所における取組み

## 【改善措置活動】「柏崎刈羽原子力発電所の志」

2022年5月25日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

1

わたしたち（発電所で働く全ての人々）の志＝「いい発電所にしよう」

わたしたちが目指す姿

わたしたちの決意・約束

地域を愛し、  
地域に愛される発電所

＜わたしたちの基本姿勢＞

- 『柏崎刈羽 行動規範』を守ります
- 人身災害・火災・ヒューマンエラー等から学びます
- 現場・現物・現実に基づきカイゼンし、成長し続けます

＜地域のみなさまとのつながり＞

- 誠実な情報発信に努め、いただいた声を活かしていきます
- 地域の活動に積極的に参加し、地域の災害時にも貢献します
- 地域の方と一体となり、地域の技術を活用する発電所をつくります

みんなが誇りを持って、  
笑顔で生き活きと働く発電所

- 人を大切にし、設備に愛着を持ちます
- 一人ひとりが主役となり、自分の仕事に責任を持ちます
- すべての仲間と本気のコミュニケーションでつながります  
（解決に向け、納得するまで本音をぶつけ合う）
- お互いに信頼し合い、感謝の心で接します

お客さまに  
選んでいただける発電所

- 発電所を適切に運営し、安定・効率的に発電します
- 新しい技術・知見を活用し、設備更新や運用改善に挑み続けます
- 廃棄物排出を最少化し、環境負荷を低減します

## (参考) 柏崎刈羽 行動規範

- 一、誰に対しても分けへだてなく、礼をもって接しなくてはなりません
  - 一、不正や犯罪行為など、恥ずべき行為をしてはなりません
  - 一、原子力安全を損なうふるまいをしてはなりません
  - 一、核セキュリティに関するルールを常に意識し、違反してはなりません
  - 一、人権侵害や嫌がらせをしてはなりません
  - 一、会社に関する機微な情報を社外に漏らしてはなりません
  - 一、社会のみなさまや会社に迷惑をかけてはなりません
- ならぬことはならぬものです

## (参考)「柏崎刈羽原子力発電所の志」の概要 (3月30日にお知らせ済)

- 現在、経営層と所員による対話活動（実績:131回）や若手所員を中心に所員自らが「いい発電所」にするための活動を展開
- こういった活動における所員からの意見を発電所幹部が受け止め、「**発電所の志（仮称:柏崎刈羽パーパス）**」を作成（2022年5月所長会見にて公表予定）
  - ✓ 発電所で働く全ての人々にとっての信念・支柱として基本的なふるまいとともに整理
  - ✓ 2022年9月末にかけて理解・共感活動を展開し、発電所で働く全ての人々の実践により、地域の皆さまから信頼される発電所を実現する
- なお、一体感醸成をより強力に推進するため、**中部電力OBの水谷氏を所長補佐として登用**。今後、内部コミュニケーションや所員のモチベーションの改善を担い、所長とともに原子力改革の達成に尽力

### <経営層による対話活動>



### <いい発電所にするための活動>



所員  
意見  
反映

### 「発電所の志」 (仮称:柏崎刈羽パーパス)

(2022年5月公表予定)

- ✓ 働く人々誰もが理解でき、支柱となる信念を整理

発電所で働く全ての人々への  
理解・共感活動を展開  
(2022年9月末にかけて)

発電所で  
働く全ての  
人々が  
「志」を実践

### 「志」実践を積み重ね 信頼される発電所に

例えば・・・

- ✓ 人身災害・火災など、ご不安につながる案件を減少。発生の際も、経営を含めた即座の社内共有により、迅速に地域へお伝え
- ✓ 所員が地域活動に参加し、地域のお声に直接向き合い地域災害時の貢献等も検討

- 2022年5月1日から本社原子力部門の一部機能が移転したことに伴い、5月9日に柏崎市内（UKビル）の事務所で開所式を実施
- 本社・発電所の一体運営を強化するために、品質・安全や設備診断、工程管理、人材育成部門などを担当する社員43名が勤務（5月に移転した48名のうち、5名は発電所内に勤務）
- 将来的な移転の計画については、執務場所や居住場所の確保等の諸課題について精査した上で、2022年9月を目途にお知らせ

### ＜事務所での開所式の様子＞



最前列の左から新潟本社代表の橋田、発電所長の稲垣、原子力・立地本部長の福田



事務所での執務の様子